

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(本郷小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
本郷小	上回った	上回った	下回った	上回った	上回った	下回った
埼玉県	51.9	56.9	55.3	62.6	53.4	50.9

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
本郷小	6-C	7-C	6-A	5-C	6-C	6-C
埼玉県	5-B	6-B	7-A	4-A	5-B	6-B

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
本郷小		2	-1		2	0
埼玉県		1	0		1	1

公表例

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

		小4		小5		小6	
質問事項		本郷小	埼玉県	本郷小	埼玉県	本郷小	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	81.1	91.2	90.3	82.5	77.8	80.4
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	83.7	79.3	87.1	77.6	59.2	72.3
	・はっきり挨拶をすることができる	89.2	75.9	96.8	77.6	88.9	77.9
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	72.9	78.5	90.3	82.4	77.8	84.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	91.9	82.7	93.5	86.7	96.3	85.1
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	43.2	47.8	61.3	46.2	40.7	46.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	62.1	55.6	74.2	58.8	59.2	60
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	32.4	31.4	29	24.9	14.8	19.9
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	81.1	75.4	90.3	77.4	85.2	79.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	75.6	73.5	87.1	71	70.3	61.1
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	83.7	73.3	90.3	69.3	70.3	67.1
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	81	82.1	90.3	80	85.2	82
	・授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	8.1	16.9	27.4	16.7	25.9	22.3
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	56.7	23.1	64.5	25.8	74	26.6
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	91.8	84.8	93.6	88.7	100	90.4
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	91.9	92	100	92.9	100	93.7
	・学級での生活は楽しい	94.6	94.8	96.8	92.5	96.3	91.6

公表例

【質問紙分析】

- ・昨年度同様「はっきりと挨拶することができる」項目で、小4～小6までの学年で平均を大きく上回っているのは、学校全体で、「心をつなぐあいさつ」をスローガンに取り組んでいるからだと考えられる。また、「相手の気持ちを考え、優しい言葉遣いができる」の項目でも小4～小6までの学年で93%以上と平均を大きく上回っていることから、学校教育目標に掲げている「思いやりのある子」が育っていることが読み取れる。
- ・「週2回以上タブレットを持ち帰って学習に活用した」と答えた児童も平均を大きく上回っており、タブレットを家庭学習でも活用しながら学習を進めている児童が多いことが分かる。
- ・「学校の先生と友達は自分のよいところを認めてくれた」と答えた児童が多く、5、6年生では、100%になっていることから、学級間、児童教員間で良好な人間関係が築けている。
- ・勉強する理由として「勉強することが楽しい、好き」と答えた児童が少ないことから、さらに主体的に学べる児童の育成を目指し、引き続き「わかりやすい授業」を心掛け、児童の視点に立った授業を展開していきたい。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級での取組】

- ・タブレットを活用して、反復練習や苦手なところの学び直しを授業や宿題で行っている。
- ・学校研究課題を「ICTを効果的に活用した指導の工夫」として全職員で研修を深め、授業に活かせるよう取り組んでいる。

【国語】

- ・小4、小5の国語の伸びが大きいのは、インプットアウトプットを意識した活動を継続して実践してきた成果と考えられる。
- ・各教科の授業の中で「対話、交流」場面を設定し、児童が自分の考えを表現しながら、他者の意見を聞いて自分の考えを広げたり、深めたりすることができたことが、国語の力を伸ばしたと考えられる。

【算数】

- ・学校研究課題を算数としていることから、教員全員が研修を重ね、授業をより分かりやすくしようと工夫している。
- ・本校の学習スタイルで指導を行いながら、問題提示場面の工夫やICTの効果的活用、対話場面の設定を実践している。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・学調結果（学力分析データ）からの児童の実態把握
- ・タブレット（ドリルパーク）を活用した習熟度にあった課題を出すこと。
- ・個別最適な学びが実現できるため授業についての職員研修
- ・苦手な既習事項をタブレットを活用して学び直すことができるシステムづくり